

決 議

私立中学高等学校は、建学の精神の下、特色ある質の高い教育を行い、我が国の公教育の発展に貢献してきました。

変化の激しい現在、私立中学高等学校は、我が国の将来を担う子供たちの資質・能力を育成する教育環境を整備するため、質の高い教員の確保やＩＣＴ環境の整備、今後発生が懸念される大規模地震に備えるための学校施設の耐震化、そして近年の記録的猛暑による熱中症対策などの施設の高機能化に努め、より安全で安心な教育環境の実現のため、様々な対策を行っています。しかしながら、国公立学校はその全額が公費で賄われるのに対し、私立学校は公費負担が一部に限られ、昨今の物価高騰等により、厳しい学校経営を強いられています。

私立中学高等学校は、国・都道府県からの私学助成と保護者からの学納金によって支えられています。私学助成による支援が充実することは、教育の質の維持・向上、そして保護者負担の軽減にも繋がり、非常に重要となっています。

本年２月に、自由民主党・公明党・日本維新の会の三党で合意された、就学支援の拡充である「いわゆる高校無償化」については、全国の子供たちが住む場所によらず自由な学校選択が保障されると期待されますが、実施に際してはその財源のために、教育関係予算が削減されることはあってはなりません。また、公私ともに教育の質の向上に向けて切磋琢磨していくことが求められており、私立専門高校を含めた支援の拡充が行われるべきです。

つきましては、本日ここに、私立中学高等学校関係者並びに保護者の総意において、私立学校の自主性・独自性を活かした特色ある質の高い教育の維持・向上と保護者負担の軽減を期して、下記の事項について決議いたします。

記

- 一、私立中学高等学校の質の高い教育の維持・向上のため、経常費助成費等補助の大幅な拡充
- 一、私立中学高等学校の教育環境の整備・充実のため、ＩＣＴ環境の整備、施設の耐震化・高機能化に係る補助の大幅な拡充
- 一、子供たちの自由な学校選択の保障と、私立中学高等学校の保護者の教育費負担軽減のため、「いわゆる高校無償化」の実現

令和7年11月5日

令和7年度私学振興全国大会